

第53回トイレラボ拡大勉強会

災害時におけるトイレ問題と関連死を考える

在宅で避難生活を続けるために必要な健康確保とトイレの備え

ご案内

昨年は大阪北部地震、西日本豪雨、北海道胆振東部地震など、数多くの自然災害が発生し、甚大な被害をもたらしました。災害時はトイレが不便もしくは不快な状況になることが多く、被災者はトイレにできるだけ行かなくて済むように、水分を控えることで体調を崩してしまいます。トイレ問題が深刻なのは、感染症や関連死につながる点にあります。

首都直下地震など、都市部の災害では在宅避難者が多くなることが想定されます。しかし、支援物資や情報、そして支援者は避難所に集まります。このような状況において、在宅での避難生活を継続するには、水・食料とセットでトイレを備えることが必要です。さらには、在宅避難者と避難所との連携が求められます。

本勉強会は、在宅での避難生活に着目し、生活を継続するためのトイレの備え方と、関連死対策の考え方を学ぶ場にしたいと考えております。是非ご参加くださいますよう、ご案内いたします。

【プログラム】

13:30 受付

14:00 開会あいさつ

14:10 報告「現場の声から学ぶ災害時のトイレ対策」

特定非営利活動法人日本トイレ研究所

14:50 休憩

15:00 講演「在宅避難における関連死対策の重要性」

山村 修氏（福井大学医学部 地域医療推進講座 講師）

16:00 意見交換「在宅避難における健康確保とトイレの備え」

16:50 終了

【日時】2019年2月18日（月）14:00～16:50**【会場】**麻布区民協働スペース 3F（港区六本木5-16-46）

日比谷線、大江戸線六本木駅 3番出口 徒歩7分

大江戸線、南北線麻布十番駅 7番出口 徒歩10分

港区コミュニティバス（ちいばす）麻布ルート、

田町ルート「麻布地区総合支所前」から徒歩0分

【参加費】無料**【定員】**70名（欠席の場合は必ず事前にご連絡ください。）**【申込先】**labostudy@toilet.or.jp

「件名：第53回トイレラボ拡大勉強会」として、

氏名、所属、メールアドレスをご記載のうえ、申し込みください。

【問合先】特定非営利活動法人日本トイレ研究所 担当：長谷川☎03-6809-1308 HP：<https://www.toilet.or.jp/>**【協力】**港区防災課